



京都を南北に分かこ一級河川、鴨川。老若男女を問わず、京都の人々に憩いの場として愛されています。京都大学に入学して間もない頃、この川には奇妙な法則が存在することをどこからともなく耳にしました。その名も「鴨川等間隔の法則」。さてこの法則、まことしやかに代々京大生に語り継がれているようですが、実際本当に成り立っているのでしょうか？ また、現在知られているもの以外に新たな法則を見出すことはできないのでしょうか？ 今回この疑問を解き明かすべく、編集部員が鴨川へ向かい、実態調査に乗り出した!! (ポコ)

鴨川等間隔の法則って？

一般に、鴨川等間隔の法則とは、「鴨川の川辺に、カップルが等間隔に座る法則」とされている。そしてその法則が顕れるのは主に三条大橋～四条大橋の間なのだとか。そこで今回、らいふすてーじ編集部では取材班を結成し、現地調査を敢行した。



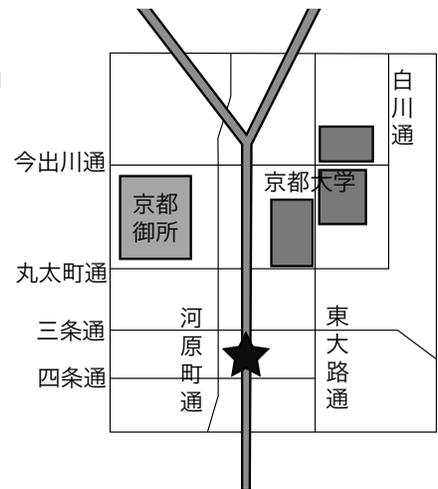
調査方法

場所は三条大橋～四条大橋区間（右図★地点）。日時は5月4日のPM2:00～。調査は、取材班が任意のカップル・家族連れ等20組を対象に、アンケートを取る形で行った。なお、その後ろで別働隊がこっそりメジャーを用いて座っている組同士の間隔も測定した。

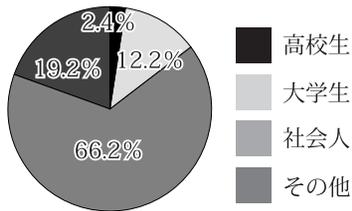


調査に必要なもの

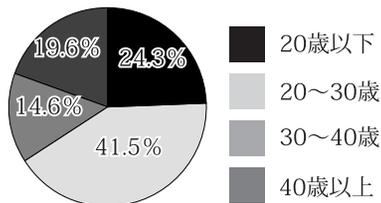
- アンケート用紙
- メジャー
- メモ帳
- ほんの少しの勇氣



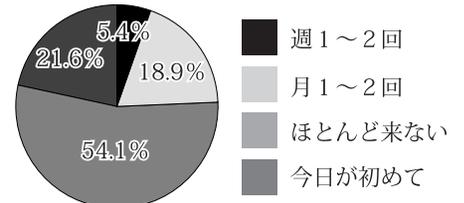
Q1：ご職業は？



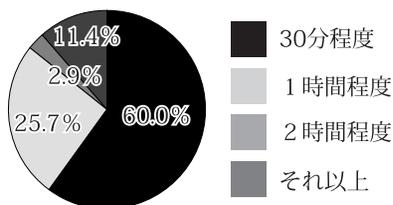
Q2：年齢は？



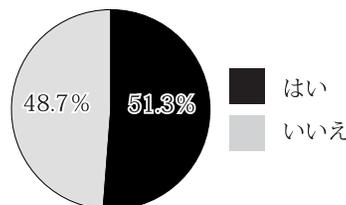
Q3：鴨川に来る頻度は？



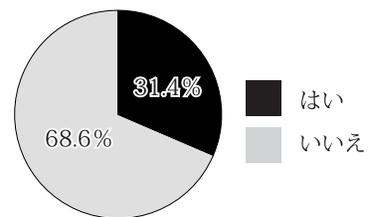
Q4：座っている時間は？



Q5：「鴨川等間隔の法則」は知っている？



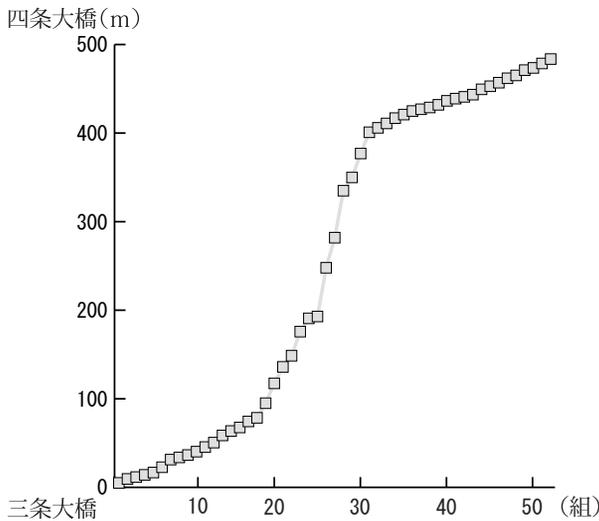
Q6：座るとき法則を意識している？



はみだし
すてーじ

「はみだしすてーじ」のネタを考えている時は、勉強している時よりも集中しています。
⇒あなたは素敵です。

(理・1 ポチヨム)
(時々覗きにきてね；編)



◀測定したデータをもとに、縦軸に三条大橋から座っていた組までの距離を、横軸にその組の数を取ってグラフにしたもの。中間に行くほど、距離が大きくなっているのがわかる。

調査結果

右上の写真が、編集部員が取材を行ったときの鴨川の模様を撮影したものである。ここで行った調査をもとに、新たにわかったことをまとめたものを右に挙げた。

ではこの日、実際鴨川に座っていた人を垣間見て記事を締めくくろう。



わかったこと

- ① 三条大橋、四条大橋に近づくにつれ密度が高くなる。
- ② 座っている人は社会人が多い。
- ③ ほとんどの人が頻繁に鴨川に通っているというわけではなく、また座っている時間も30分以内と短い。
- ④ みんな思ったより等間隔の法則を知らず、意識もしていない。

鴨川 GALLERY

観光客のマナーの悪さを嘆かれていた。

らいふすてーじを読む京大生カップル。

突然の質問にも積極的に答えてくださった。

熟年カップルのような落ち着いた雰囲気。

今回鴨川を取材するにあたって、様々な人々にめぐり合うことができました。友人の結婚式で歌を披露するため、10数年承りに鴨川で集まった人。遊び疲れて、休憩にふらりと立ち寄った人。今日も鴨川ではいろいろな人たちがいろいろなことを語り合っていることでしょう。みなさんも気が向けば、ぜひ鴨川に行ってゆっくりと座ってみてください。

**はみだし
すてーじ**

今年度から桂へ。ついに本気ではみだした。
⇒桂でもらいふすてーじをよろしく。

(工・4 タケ)
(桂は素敵です；編)